

セキュアクライアントを介したCisco Umbrellaとのデスクトップ同期障害に対するGoogleドライブ

内容

お問い合わせ内容

Cisco Secure ClientとSecure Accessを使用してCisco Umbrellaを有効にすると、Google Drive for Desktopの同期が失敗します。

環境

- Cisco Secure ClientとUmbrellaモジュール
- シスコセキュアアクセス
- デスクトップアプリケーション用Googleドライブ
- 環境内に複数の組織IDが存在する

解決策

この問題を解決するには、影響を受けるエンドポイントを古いUmbrella組織の設定から適切なSecure Access組織に移行する必要があります。

これには、既存のOrgInfo.jsonファイルを正しいコンフィギュレーションファイルに置き換える必要があります。

ステップ1：既存のUmbrella設定の削除

Cisco Secure Client Umbrellaディレクトリに移動し、既存の設定を削除します。

```
C:\ProgramData\Cisco\Cisco Secure Client\Umbrella
```

このディレクトリからデータフォルダと古いOrgInfo.jsonファイルを削除します。

ステップ2：新しい組織の構成のダウンロード

セキュアアクセスダッシュボードにアクセスし、正しい組織用の新しいOrgInfo.jsonファイルをダウンロードします。

ステップ3：新しい設定のインストール

ダウンロードしたOrgInfo.jsonファイルをCisco Secure Client Umbrellaディレクトリにコピーします。

```
C:\ProgramData\Cisco\Cisco Secure Client\Umbrella
```

ステップ4：再起動と検証

影響を受けたデバイスを再起動し、Google Drive for Desktopの同期機能を再テストして、問題が解決されたことを確認します。

原因

この問題は、古いOrgInfo.jsonコンフィギュレーションファイルを使用しているエンドポイントが、トラフィックを現在のSecure Access組織ではなく古いUmbrella組織に誘導したことが原因です。この誤設定により、適切なトラフィックルーティングとポリシーの適用が妨げられ、ブラウザベースのアクセスが引き続き機能している間に、デスクトップ同期用のGoogleドライブで障害が発生しました。

関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。